

町民憲章碑を設置
除幕式で完成祝う

町誕生2周年を記念して、まちづくりの指標となる町民憲章の披露が10月に行われました。その町民憲章が記された憲章碑が完成し12月5日、除幕式が本庁と小川支所で開催されました。

町議や町職員など約150人が参加した式典で、川崎和郎町長は「町発展のためこの町民憲章を指標とし、那珂川町民として誇りをもち、やさしさと活力に満ちたまちづくりを目指します」とあいさつ。町長ほか議長や行政区長らで庁舎前に設置された憲章碑を一齐に除幕し、完成を祝いました。



広重美術館入館者40万人達成

町馬頭広重美術館では12月14日、入館者が40万人を突破しました。40万人目の入館者となったのは午前10時30分に友人と3人で訪れたさくら市在住の鈴木京子さんです。

川崎和郎町長から記念品と花束が手渡されると「自分が40万人目になるなんて驚きです。いいものはいつ見てもいいので、もっと多くの人に見てもらいたい美術館が身近に感じてもらえれば」と喜びを語っていました。また、一緒に来館した磯田廣子さん（馬頭）は「来る度に違う作品が展示してあり、すばらしい」と話していました。

入館者40万人は平成12年11月の開館以来、7年2カ月で達成したことになります。



中央が鈴木京子さん

ハンドメイドおがわ
フェスティバル

16回を迎えた恒例のハンドメイドおがわフェスティバルは12月9日、ふるさとの森公園内の民家「匠の館」で開催され、町内外から訪れた買い物客でにぎわいました。

ハンドメイドおがわは手作りの作品を安価で提供しようと組織した主婦による手芸のサークルで、1年間製作したさまざまな作品を販売しました。

買い物客は、1点物のパッチワークのバッグや焼き物、割ぼう着、クッキーなどを手に取って、品定めをしていました。



作業所ポニーとうぐいす工場の通所者がそば打ち体験

作業所ポニーとうぐいす工場の通所者16人が12月17日、ふるさとの森公園内のふれあいの舎で新そばを使ったそば打ち体験を行いました。

ふれあいの舎利用組合（杉山勝組合長）の指導により、そばのこねや打ち、切りなどに挑戦。見た目より難しい様子でしたが、一人ひとり交代しながら腕を振るいました。

終了後は、自分たちで打ったそばをゆでてもらい、新そばを存分に味わいました。



馬頭小でミュージック・パトロール

栃木県警察音楽隊によるミュージック・パトロールが12月3日、馬頭小体育館で、同校児童のほか、4月に馬頭小に統合される武茂小、健武小、和見小の児童及び「子ども110番の家」の協力者を招いて開催されました。

今回の演奏会は、学校の統廃合に伴う児童を取り巻く環境の変化や通学の安全確保、地域住民による安全安心なまちづくりの一環として実施されました。

演奏の合間に楽器の紹介や児童が指揮をするなどの体験をし、最後に各小学校の校歌を歌い母校の思い出づくりや児童の融和を図りました。



馬頭図書館で工作教室 「メリー・フラワー・クリスマス」

馬頭図書館で12月15日、親子連れなど14人が参加して、工作教室が開催されました。

この工作教室は毎年開催され、昨年はクリスマス・リース、今年は卓上用のクリスマス・ツリーを作製しました。

参加者は、松ぼっくりやリボンなどで思い思いに飾り付けをした自分だけのクリスマス・ツリーの出来ばえに満足そうでした。



小川第2保育園でもちつき

小川第2保育園では12月18日、恒例のもちつきが行われました。

同園にお孫さんが通う福島光一さん（芳井）に協力いただき、昔ながらのきねとうすを使ったもちつきに、園児たちからは「おじいちゃん頑張つて！」と声援が飛んでいました。

途中、園児自らもきねを握り、交替でもちつきに挑戦しました。

子どもたちは「楽しかった」「おもちゃ大好き」とにこにこ顔でつきたてのもちをほおばっていました。



AEDの寄贈を受けて まほろばの湯で講習会を実施

馬頭小川ロータリークラブは創立35周年記念事業として、まほろばの湯湯親館（小川）にAED（自動体外式除細動器）と車椅子2台を寄贈しました。

AEDは、心肺停止状態にある人に3,000ボルトの電気ショックを与え、そ生を凶る装置です。

年間約16万人が入館する同施設では今回の寄贈を受けて、不測の事態があっても素早く対応できるようにと12月19日、講習会を実施しました。従業員らは真剣な面持ちで説明を受けていました。

